

各 学 校 長 様  
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 藤本 守  
(柏原市立柏原中学校長)

## 冬季研修会のご案内 (二次案内)

寒冷の候、先生方におかれましては、ご活躍のことと存じます。  
大阪府支援教育研究会主催で、以下の要項で冬季研修会を実施いたします。  
ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

記

- (1) 日 時 令和2年(2020年) 1月25日(土)  
          午前の部 10時30分～12時30分(10時10分 受付開始)  
          午後の部 14時～16時(13時40分 受付開始)
- (2)
- (3) 場 所 たかつガーデン  
          大阪市天王寺区東高津町7-11

(4) 内 容

### 午前の部(午前10時30分～12時30分)

- A 「発達障がい児の楽しい感覚・運動遊び」  
森田安徳先生(神戸親和女子大学非常勤講師)

自立活動や授業で行うことを目的として、楽しい感覚・運動遊びをとりあげます。今回は、本年度に行った夏季研修の概要を簡単になぞり、その上でDVDを見ていただきます。児童生徒によく見られる困難さを確認し、具体的な活動や指導の留意点を、DVDを見ながら解説します。DVDは、通級の実践や群馬大学の岩崎元教授が作成されたDVDを用います。

- B 「支援教育の視点を生かした授業づくり・集団づくりにむけて」  
～『富小スタンダード』等、明日から役立つ具体的支援を実践から学ぶ～  
松本竜彦先生(富田林市立富田林小学校)

富田林小学校は、平成29、30年度の二年間、文部科学省から委託を受け「特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業」についての研究を進めてきました。その中で特に大切にしてきたことは、「どの子もわかる授業づくり」、「どの子も安心して学習に取り組むことができる教室づくり」の2点です。その目標を達成するために本校では、「アンケートによる児童の実態把握」、「学校全体でビジョントレーニングの実施」、「安心できる学校環境づくり」、「富小スタンダード・チェックリストの活用」等、様々な取り組みを行ってきました。本校の二年間の取り組みと成果について、具体的に事例を交えてお伝えします。また、私が担当している通級指導教室での取り組みについても紹介したいと思います。

C 大阪府立箕面支援学校における性に関する指導

李容司先生（大阪府立箕面支援学校）

障がいのある児童生徒は、一般的に成長と共にいつの間にか身につく（と思われている）性に関する知識や振る舞いが習得されていないことがある。そのため教科書の内容だけではなく、家庭と連携をとりながら、より生活に即した指導が必要になることもある。

箕面支援学校では卒業後に社会の一員として生活していく上で必要な知識や技能、実態に応じた指導方法などについて検討しながら性に関する指導に取り組んでいる。様々な課題にどのように向き合っているかなどもあわせて報告したい。

午後の部（午後2時～4時）

D 「発達が気になる子どもたちへの身体へのアプローチ～大きなふわふわしたボールを使って～」

河野健三先生（大阪府立藤井寺支援学校）

空気の量を調整した大きなふわふわしたボールのことを、ファシリテーションボールと呼び、このボールを活用した心と身体へのボディーワーク「ファシリテーション・ボール・メソッド」への理解を深めていただき、子どもたちの実態に迫りたいと思います。

前半、知的障害、発達障害の子どもたちの身体の使い方をみるとどこかぎこちなさが見え隠れしています。そこでは、子どもたちの身体の見方や問題点をあげながら参加された先生方と一緒に考えていきたいと思います。後半は、実際にファシリテーションボールを使い、動きやすい環境設定の仕方、自分の身体への気づかせ方や自発的な身体へのアプローチの促し方について体験を通して理解を深めていただけたらと思います。子どもたちの「僕もできるよ！」を目指して！

当日は、動きやすい服装でご参加ください。

E 読み書きの苦手な子供への学習支援のあり方 ～多層指導モデルMIMを活用して～

片山真喜代先生（彦根市立城南小学校）

多層指導モデルMIMでは、通常の学級において、異なる学力層の子供のニーズに対応した指導・支援を提供していきます。特に、子供が学習につまずく前に、また、つまずきが重篤化する前に指導・支援を行うことをめざしています。（MIMの開発者 海津亜希子氏）

多層指導モデルMIMってなあに？MIM「読みのアセスメント・指導パッケージ」でめざすことは？特に平仮名や片仮名の入門期指導について、アセスメントの方法や効果的な指導方法、教科書の活用方法についてなどをお話ししたいと思います。

F Word でつくる —「こどもが～」をめざして—

田村真一先生（高槻市立北大冠小学校）

支援学級担任として、word でいろいろなファイルを作ってきました。スケジュールや手順書など、子どもたちを支援するためのファイル。視写や時刻計算、小遣い帳などの教材。そのときに大切にしてきたのは、「子ども」であり、「こどもが」をめざして作ってきました。

実際に作ってきたファイルを示しながら、どのようなことを考えてきたのか、使ったときの子どもたちの反応は、などを具体的にお話しさせていただきます。それは、私が、子どもたちをこう感じ、こう願い、こう考えて、こうしてきたということであり、こうすればよい、これを使えばできるということでは決してありませんが、よい意味でも悪い意味でも参考になるお話にできればと思っています。

#### (5) 申し込み方法

**※ お申し込みは、お一人様最大、午前1講座、午後1講座の計2講座です。**

<方法①> WEBより 「こくちーずPRO」サイトを検索して頂き、イベントの検索欄に「大支援研」で検索。「大阪府支援教育研究会 冬季研修会(2020年)」を選択して申し込みください。

<方法②> 下記2次元バーコードをスマートフォンで読み込んで申し込みください。



※申し込みの「参加者コメント欄」に

**①所属(支援学校は学部も明記) ②所属学校又は個人の電話番号**を必ず記入してください。

※申し込みが済みましたら、こくちーずプロより参加申し込み受付メールが配信されます。もし返信が無い場合は、申し訳ありませんが、お問い合わせください。

※連絡は、申し込みされたアドレスに送らせていただきますので、返信メールの受信が可能かどうか、ご確認ください。学校のPCや携帯・スマホなどから申し込まれた場合に、返信メールが届かない事例があります。

※このメールが「参加確認証」になります。本文をプリントアウトされたもの、又はメールを表示した携帯等の画面を、受付でご提示ください。

#### (6) お問い合わせ先

大阪府支援教育研究会 本部書記(研修部担当)  
大阪府立箕面支援学校 坂部 大介

**t s a k a b e d @ g m a i l . c o m**

※ お問い合わせはe-mailにてお願いします。

なお、件名は、「大支援研 冬季研修会 問い合わせ」をお願いします。